

秋学期試験に際しての注意事項

例年、定期試験において様々なトラブルが起きています。受験に際しては、以下のようないくつかのルールがあります。事前に確認し、試験に備えてください。

【登録していない科目の受験】

未登録の科目を受験し、その結果が無効となるケースが起きています。試験に際しては、必ず自分の登録した科目を確認の上受験するようにしてください。

【席の並び方】

最前列にならって、前後がまっすぐに並ぶように着席してください。また、となりの人とはひとつ席を離して並ぶことになっています。こうした状態になるまで試験は始められませんので、最初からこのことを念頭に置いて着席してください。

【学生証】

試験を受けるためには学生証の提示が必要です。忘れないよう注意してください。受験の際、学生証はケースから取り出し、通路側の机の端に写真面を表にして置いてください。万一、学生証を忘れた場合は試験実施本部(58年館2階教職員食堂)で「仮受験許可証」の交付を受けて下さい。

【不正行為(カンニング)】

例年、不正行為やこれと紛らわしい行為が報告されています。また、こうしたことに対する学生からの苦情も届いています。不正行為をすると、その科目が無効になったり(場合によっては全登録科目が無効となります)、停学といった厳しい処分を伴うこととなります。不正行為は絶対に行わないでください。また、答案用紙の持ち帰りも不正行為となりますので、必ず提出してから退出してください。

【携帯電話・その他電子機器類】

試験中は、携帯電話・携帯電子端末等の電子機器類の使用は禁止しますので、必ず電源を切りしめてください。時計や電卓の代用として使用することも出来ません。

【退室許可と遅刻の場合の取り扱い】

退室は、原則として試験開始後20分を経過した時点で、監督者の指示のもと可能となります。遅刻は試験開始後20分までしか認められません。これ以後の受験はできません。試験開始時刻に間に合うように、試験当日は余裕をもって登校してください。

【追試験について】

交通機関の事故や病気等、本人の責によらない不測の事態により試験を受験できなかった場合、学部・担当教員によっては追試験を行うことがあります。各学部や市ヶ谷基礎科目の掲示板でよく確認してください。

追試験の申請には証明書が必要です。交通機関の遅れの場合は「遅延証明書」(日付と遅延時間が明記されたもの)、病気の場合は、医師の「診断書」(登校が不可能であった期間等が明記されたもの)が必要です。

※遅延証明書は、試験開始時間を基準としたもの(例えば、試験開始から30分遅れて大学に到着した場合は、30分以上の遅延証明書)でなければ認められません。遅刻入室可能時間である20分間(試験開始から20分間)は、含まれておりませんので注意してください。

※証明書の提出によって無条件に受験できるとは限りません。

以上

※ 試験時間割は変更になる場合もあります。変更は掲示板でお知らせしますので、必ず確認してください。

※ 基礎科目・総合科目の時間割については、市ヶ谷基礎科目の掲示板を確認してください。